



NetCommons モジュール、アンケート機能の活用



NetCommons を採用し、新規にホームページを構築しています。アンケート機能の活用や学校評価結果の公開についての研究を行っています。一方向の情報発信ではなく、今後主流となるであろう双方向の情報交換による、評価を活かした学校ホームページや学校運営のあり方について展望するとき、大変参考になる取り組みです。また、複数学科の活動の様子なども、CMSの機能を活用して複数の先生方で業務負担を分散しながら運用しています。ホームページの利用者に対するアンケート結果や、学校評価の公開に対するアンケート結果なども、参考にしてください。

- 1 **学校名** 県立那須拓陽高等学校
研究協力委員 松本 尚浩 教諭

2 従来のホームページ状況

(1) サーバ環境

OCN のホスティングサービス

(2) ホームページの構成など

従来のホームページは、諸事情により「工事中」となっていた。

3 CMSによるホームページの運用

(1) サーバ環境

OCN のホスティングサービス

ただし、従来の契約プランでは、データベース機能が利用できないため、**プラン変更**を行った。

(2) 構築作業

当初、8月に発表された NetCommons Ver.1.1 を導入したが、管理者の画面を呼び出すことができず、Ver.1.0 でインストールし利用している。Ver.1.1 の不具合の原因は不明のため、Ver.1.1 へのアップグレードは考えていない。

4 CMSによるホームページの運用

(1) ホームページ的设计

ホームページは一からの制作となるため、できるだけシンプルな構成にした。

(2) 作成作業 (技術的内容)

骨組み部分は、情報担当者が全て作成。

(3) 運用体制

校長が責任者。各コンテンツの担当者が更新した内容を、教務部副部長をチーフとしたホームページ承認係がチェックする。承認係で可否の判断が難しいものは、管理職に委ねる。

(4) 運用のポイント

学校行事などのタイムリーな話題は、できるだけ早く承認係にチェックしてもらって体制を維持する。

このページでは、普通科の様子をお伝えします。

■普通科blog

2007/11/09 **学力向上推進事業の公開授業の実施** カテゴリ:すべて表示

 今年度と来年度、本校は栃木県の学力向上推進事業の指定校となっています。今日はその事業の一環で、公開授業が行われました。

生徒も、県内各地より多数の先生が来るということで、普段に増して真剣にかつ積極的に授業に臨んでいました。

記入者:NM コ

2007/10/31 **ペットボトルから繊維へ...**

 今日は3年生が化学室で、ペットボトルから繊維を取り出す実験をしていました。ペットボトルを細かく切り、多数の小さな穴を開けた空き缶に入れ、アルコールランプで加熱して溶かし、遠心力を利用して、繊維を取り出すそうです。

5 活用事例

(1) ホームページデザイン

学校案内、学科紹介、部活動紹介、生徒会活動、農業クラブ活動、家庭クラブ活動、部活動日誌、農場便り、普通科 blog で構成される。特に、部活動日誌、農場便り、普通科 blog は、管理者以外の教員でも、更新できるようになっている。

(2) ホームページの活用例

① 本校ホームページの利用者について

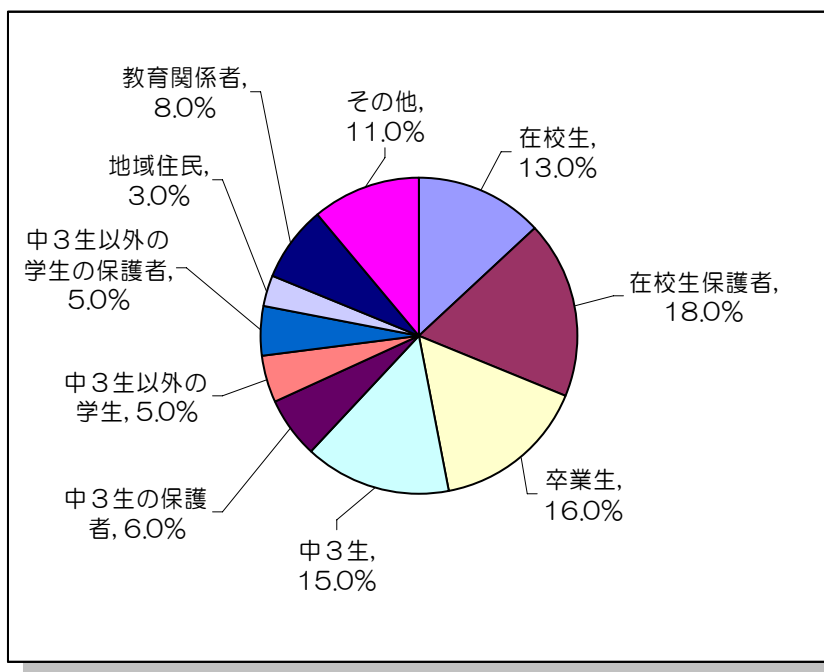
平成 19 年 10 月にホームページを開設し、平成 19 年 12 月 20 日現在で約 6100 件のアクセスがあった。どのような人がアクセスしているか調査をするため、トップページにおいて次のようなアンケートを行った。

<質問>

参考のために、あなたの立場に一番近いものを選んでください。

<選択肢>

在校生、在校生の保護者の方、卒業生の方、中学 3 年生、中学 3 年生の保護者の方、中学 3 年生以外の学生、中学 3 年生以外の学生の保護者の方、地域住民の方、教育関係者、その他



<集計結果> 回答総数 104 件

中学 3 年生とその保護者のアクセスを合わせると 21%になる。進路研究の一環としてホームページの閲覧を利用していると推測される。

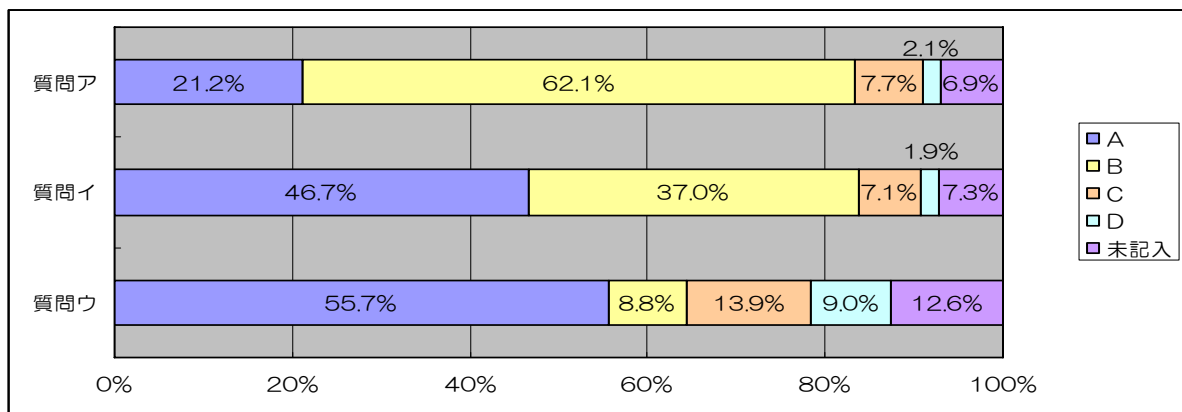
② ホームページにおける学校評価の公表について

平成 19 年 11 月 19 日から平成 19 年 12 月 15 日の約 1 ヶ月間、昨年度の学校評価の結果をホームページ上に公開した。保護者のみ閲覧できるように、ユーザ、パスワード設定を行った。この設定は OCN ホスティングサービスの機能である。全保護者にアンケートを配付して回収した。

＜質問と選択肢＞

- ア 学校評価を公開することに対し、どのようにお感じになりますか。
 A 大変良いことだと思う。 B 良いことだと思う。
 C あまり良いことだとは思わない。 D 良いことだとは思わない。
- イ 学校評価の公開の範囲については、どのようにお考えでしょうか。
 A 関係者などを問わず、すべてに公開した方が良いと思う。
 B 学校評議員・生徒・保護者・同窓生など、学校関係者だけで良いと思う。
 C 公開の必要はないと思う。 D その他（自由記述欄あり）
- ウ 公開する内容について、どのようにお考えですか。
 A 昨年度のような詳しい公開内容で良いと思う。
 B 分析・検討のコメントはなくても良いと思う。
 C 数値のみの公表で良いと思う。 D その他（自由記述欄あり）

＜集計結果＞ 回収総数：467件



学校評価の公表については、8割以上の保護者が好感を持っている。質問イについては、すべてに公開した方が良いと考えている保護者が半数近くいる反面、関係者のみでも良いと考えている保護者も37%いる。公開の内容は、分析・検討が記載されている詳しい公開内容が良いと考えている保護者が半数以上いる。その他を選んだ保護者が9.0%いたが、具体的にどのような内容が良いのかを記入している保護者はいなかった。

6 まとめ

(1) メリットとデメリット

シンプルな構成で分かりやすく閲覧しやすい。ただし、デフォルトの文字サイズが小さいのではという意見があった。

ほぼ真っ白な状態からホームページを作成した本校にとっては、必要な機能がほとんど揃っていると感じた。特に、**【日誌】**を更新すると、自動的に**【新着情報】**に表示される点ありがたい。また、以前に用意してあったHTML形式のファイルを**「iframe」**機能で利用できる点も、大変有効である。現在のところ、**【日誌】**などを更新した際の承認は、大変スピーディーに行われており、その日の様子をその日のうちに公開できるので、**タイムリーな話題を公表**することができる。

CMSは、HTMLの仕組みなどを理解していなくても、ホームページの更新を行うことができる点が最大のメリットである。初期の設定さえ行ってしまうと、コンテンツの更新を行うことは、ワープロ

フトを利用できる人であれば操作できる。実際、本校ホームページの部活動日誌や農場便りを更新している教員は、ホームページに関する特別な知識を持っていない。10分程度のアドバイスで、一人で更新できるようになった。ただし、いつでも質問を受け付けたりアドバイスを与えたりするような環境であるため、安心して更新しているという状況にあり、管理者以外にもCMSの仕組みを理解している人間が増えれば、管理面での負担が軽減されるだろう。

本校は、ほぼ最初からCMSでホームページを作ったせい、内容的な面などで、ほとんどデメリットは感じられない。

(2) 今後の課題

平成19年12月現在、本校で利用しているNetCommonsの仕組みを理解している者は一人しかおらず、コンテンツの初期設定や、会員管理などをすべて一人で行っている。そのため、担当者が不在の場合や、もし担当者が異動などで本校を離れることになったときに、ホームページ管理の大きな問題があった、作った人しか分からないという事態はこれからも起きる可能性はある。しかしCMSは、今までのホームページ作成用のソフトのような複雑さはあまり感じられず、管理者の育成も簡単である。

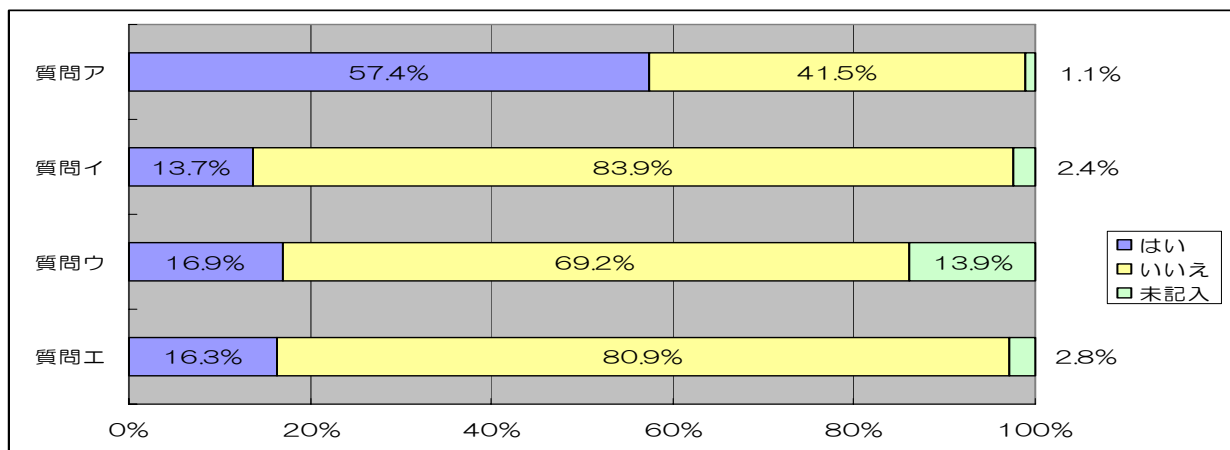
CMSへの移行を積極的に行うのであれば、研修などでCMSの操作方法などを学び、CMSの仕組みを理解した教員を増やしていく必要があると思われる。

－ 参考データ －

本校のホームページについて、全保護者に対し以下のようなアンケートを行った。

〈質問〉 回答はすべて「はい、いいえ」の選択肢である。

- ア 御自宅でインターネットを利用できますか。
- イ 本校のホームページを御覧になったことがありますか。
- ウ 「イでいいえを選んだ方に」本校のホームページがあることを御存じですか。
- エ 他の高校のホームページを御覧になったことがありますか。



〈集計結果〉

半数以上の家庭でインターネットが利用できる反面、約4割が利用できない環境にある。県北では広帯域接続のエリアがまだ広がっていないが、パソコンでインターネットを利用できなくても、携帯電話の普及によって、特に支障がないと感じている人が多いのではないかと推測される。また、本校、他校を含めて、高校にホームページがあることを知らない人が多いのではないかと、この結果から考えられる。どのように、ホームページの存在を周知していくかが課題である。